

# 2021年



## トンペイ 東北クラブ

第45回 宮城県サッカーリーグ2部成績表

	中新田サッカークラブ	SC75	KEMONO in 槻木	六郷クラブ SC	登米サッカークラブ	田尻FC	東北クラブ	Sendai Universitat
中新田サッカークラブ	-	0 - 3 ●	2 - 3 ●	3 - 0 ○	2 - 0 ○	2 - 1 ○	1 - 3 ●	1 - 1 △
SC75	3 - 0 ○	-	3 - 1 ○	4 - 0 ○	1 - 2 ●	6 - 1 ○	3 - 1 ○	1 - 2 ●
KEMONO in 槻木	3 - 2 ○	1 - 3 ●	-	0 - 2 ●	1 - 2 ●	3 - 3 △	0 - 5 ●	0 - 2 ●
六郷クラブ	0 - 3 ●	0 - 4 ●	2 - 0 ○	-	1 - 3 ●	2 - 1 ○	0 - 4 ●	1 - # ●
登米サッカークラブ	0 - 2 ●	2 - 1 ○	2 - 1 ○	3 - 1 ○	-	1 - 5 ●	1 - 4 ●	0 - 7 ●
田尻FC	1 - 2 ●	1 - 6 ●	3 - 3 △	1 - 2 ●	5 - 1 ○	-	0 - 2 ●	0 - 8 ●
東北クラブ	3 - 1 ○	1 - 3 ●	5 - 0 ○	4 - 0 ○	4 - 1 ○	2 - 0 ○	-	0 - 3 ●
Sendai Universitat	1 - 1 △	2 - 1 ○	2 - 0 ○	# - 1 ○	7 - 0 ○	8 - 0 ○	3 - 0 ○	-

第45回 宮城県サッカーリーグ2部順位表

	チーム名	試合数	勝ち	負け	分け	得点	失点	得失点	勝ち点
1	中新田サッカークラブ	7	3	3	1	11	11	0	10
2	SC75	7	5	2	0	21	7	14	15
3	KEMONO in 槻木	7	1	5	1	8	19	-11	4
4	六郷クラブ	7	2	5	0	6	28	-22	6
5	登米サッカークラブ	7	3	4	0	9	21	-12	9
6	田尻FC	7	1	5	1	11	24	-13	4
7	東北クラブ	7	5	2	0	19	8	11	15
8	Sendai Universitat	7	6	0	1	36	3	33	19

順位  
4  
2  
7  
6  
5  
8  
3  
1

## 2021年 全試合一覧

No	月日	試合名	勝敗	スコア	対戦相手	場所
1	5/23	社会人大会1回戦	○	5-0	一高済美SC	@松島FBC2
2	5/30	社会人大会2回戦	○	1-0	白石CLUB	@女川第二
3	6/20	社会人大会準々決勝	●	0-2	ARDORE桑原	@色麻町愛宕山公園サッカー場
4	6/27	クラブ選手権1回戦	○	3-0	南小泉	@みやぎ生協めぐみ野サッカー場C
5	7/4	宮城県リーグ第1節	●	1-3	SC75	@アディダススポーツパーク
6	7/18	クラブ選手権2回戦	●	0-2	マリソル松島	@松島FBC2
7	10/3	宮城県リーグ第2節	○	3-1	中新田SC	@松島FBC1
8	10/10	宮城県リーグ第3節	●	0-3	Sendai U	@アディダススポーツパーク
9	10/17	宮城県リーグ第4節	○	4-0	六郷クラブ	@愛宕山運動公園
10	10/31	宮城県リーグ第5節	○	2-0	田尻FC	@みやぎ生協めぐみ野サッカー場C
11	11/14	宮城県リーグ第6節	○	不戦勝	KEMONO in 槻木	@みやぎ生協めぐみ野サッカー場C
12	11/28	宮城県リーグ第7節	○	4-1	登米SC	@アディダススポーツパーク

### ■2021年5月23日（日曜日）社会人選手権1回戦 一高済美SC戦

試合開始 10:00 （40分ハーフ） 場所：松島フットボールセンター 2

【結 果】 5-0で勝ち

【得点者】 桂島大和⑩【1点目】、中村航太⑨【2点目】、八重樫英一郎⑦【3点目】、坂井響⑩【4点目】、八重樫英一郎⑦【5点目】

【アシスト】 今野琢人⑥【1点目】、土肥功之介⑧【2点目】、中村航太⑨【3点目】、中村航太⑨【4点目】、土肥功之介⑧【5点目】

【スタメン】 GK：田村祥太郎①

DF：長谷川昂輝②、小山海斗③、古賀広見⑭

MF：菅野隼也⑤、今野琢人⑥、八重樫英一郎⑦、土肥功之介⑧

FW：中村航太⑨、坂井響⑩、桂島大和⑩

【控 え】 外館篤⑫、小西賢⑮

【交 代】 中村航太⑨→外館篤⑫(後半21分)、坂井響⑩→小西賢⑮(後半25分)

【警 告】 桂島大和⑩

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、小川修一、船橋富寿

【副 審】 なし

【評】

去年の初戦は、コロナ・ウィルス感染により遅れて7月12日だった。今年は、2月の時点では例年通り4月初旬からの予定だったが、皆さんご承知のようにコロナ・ウィルス変異株の猛威で中止となった。ただ、宮城県は幸運にも他県より早く感染者が減ったため5月23日の開幕が実現したようだ。

10:00キックオフ。場所は松島フットボール・センター2。相手は一高済美サッ

カークラブだ。県リーグ2部にいたこともあり過去何度か対戦している。勝ち越してはいるものの何度も苦い思いをされているチームだ。見覚えのあるプレーヤーも何人かいた。こちらは当時のメンバーはスタッフ以外皆無なので、相手にとっては未知のチームということになるのだろう。

開始早々2分、坂井が中央突破を試みてシュートする。開幕戦は気持ちも体も慣れるまでが大変である。こういう積極的なプレーはそれをほぐしてくれる。

7分、中村がシュートする。15分、中盤からの早いボールに坂井がヘディングで合わせる。シーズン後半だったら決まっていたと思われるが。開幕戦ではまだそこまで体もついて来ないようだった。相手も開幕戦なので最初からガツガツは来ない。おかげでボールを回すことができ、試合にも慣れてくる。

16分、D F 長谷川が起点となり、ボールは菅野に。菅野は相手と競り合いながらもボールをキープ、相手陣内ペナルティエリアの大分手前で今野にボールが渡る。今野は左から中へ走ってきた桂島を視界に入れた。体を変えて相手D Fの背後にキラーパスを出す。桂島はフリーでボールを受けG Kと1対1に、交錯しながらも見事にゴールを奪った。1 - 0。待望の今季初ゴールだった。

18分、チャンスは続く。D F 同士でパスを回し左から右へサイドチェンジする。ボールは古賀へ、古賀はドリブルで中へ切り込む。ペナルティエリア少し手前でアーリークロスボールをゴール前に流す。F W坂井が足を出すが届かず、ボールは流れる。左から(\*)が詰めG Kと交錯する。すぐに立ち上がりゴールラインを割ろうとするボールをシュートする。角度が無かったが「ゴールした!」と皆思った。しかし、相手D Fのファイン・カバーで無に期した。

飲水タイムの後の30分、精力的に動いて相手DF・G Kにプレッシャーをかけていた八重樫が、中盤左で相手のクリアボールをキープする。中を見てゴール前にセンタリングした。ゴール前には2人待っていた。1人がジャンプする。当然相手D Fもジャンプする。ボールは2人の頭上をスルーしてゴール前の中村の前に! 相手D Fも中村をマークしていたが、一瞬の動きについていけなかったようだ。中村は倒れながらも確実に決めた。2 - 0。

34分、D F 小山を起点にパスが回る。左を走ってきた桂島に縦パスが出る。桂島はドリブルで切り込む。ペナルティエリア付近で中央に走ってきた八重樫に横パス。G Kは桂島から八重樫に重心を移した。八重樫はトップ・スピードのままG Kとクロスする。一閃、八重樫の前には無人のゴールが待っていた。3 - 0。良い時間帯での3点目だった。

後半に入っても攻勢は続いた。D F 古賀は最後尾からオーバーラップして、最前線まで全速力で突破・・・を何度もやって喝采を浴びていたが、初戦からこんなに走って大丈夫か? とベンチで心配する声が聞こえた。

後半7分、ペナルティエリア右の手前でF Kを得る。キッカーは土肥か? 菅野か? 吉田コーチが「バーに当たる予感がする。これはチャンス!」と言った矢先、菅野のFKはゴールのバーを叩いた。跳ね返ったところには・・・残念ながら合わせる人はいなかった。これまでも過去にこういうことが何度かあった。"適当な"ベンチ



の声は大切にしよう。

後半15分、相手DFが普通に横パスを回しサイド・チェンジを図ろうとした。CBから右のSBにボールが蹴られた・・何か閃いたか桂島が動いた。10m位はあったろうか、相手DFはボールを捌こうとする前に、いきなり目の前に現れた桂島を捌かなければならない状況に陥った。ボールは桂島に当たり、FW中村の前に流れ絶好のパスとなってしまった。相手CBは前を向いていたのでどうすることもできなかった。中村の目の前にはGKしかいない。中村は慎重にGKとの間合いを詰めた。GKの動きが速く、シュートせずに交わした。シュートの角度が浅くなったためかゴール前に待っていた先輩坂井へ花を持たせた。坂井は「ごつつあんです」と言ったとか言わなかったとか。4-0。

疲れの見た中村が外館に、動きすぎた坂井が小西に交代する。

後半32分、左から土肥がドリブルで上がり攻勢をかける。中盤左から中へセンタリング、ゴール前には3人がいた。一番前の人ジャンプした。速いボールはその頭上を越え、二番目の八重樫の前にストンと落ちた。八重樫は、ボールの下に合わせただけのように見えた。ボールは逆回転してGKの頭上をゆっくり弧を描いて、ネットを揺らした。これまで強烈なシュートで観客を魅了してきた八重樫だが、「うーむ・・」と唸らせるような渋い技巧派シュートもできることを知らしめた。5-0。

今日は、メンバー初顔合わせでチームプレー・連携プレーはシーズン終盤まで待たなければならないだろうと思っていた。しかし、思いの外ボールを回すことができたこと、外に開いて中で勝負する形が結構見られたこと、自分が走ることで空きスペースを作りそこへ走り込んで勝負する、などが見られたことからもっと早く機能するようになるのではないかと期待を持つことができた。DF・MFも昨年から



のメンバーが多かったためか意思疎通良く決定的な場面は作らせなかった。G K 田村は久々の本職キーパーで、ユニフォームも新調された。G K の見せ場が多い時は、チームが劣勢の時が多い。そういう意味では今日あまり見せ場がなかったのは、良かったというべきだろう。 【鈴木修平.記】

### ■2021年5月30日(日曜日) 社会人選手権2回戦 白石CLUB戦

試合開始 14:10 (40分ハーフ) 場所: 女川総合運動公園第二多目的運動場

【結 果】 1-0で勝ち

【得点者】 桂島大和⑳

【アシスト】 坂井響⑩

【スタメン】 G K : 田村祥太郎①

D F : 長谷川昂輝②、土肥功之介⑧、小西 賢⑩、川口将史⑪

M F : 菅野隼也⑤、八重樫英一郎⑦、塚田一成⑬

F W : 中村航太⑨、坂井響⑩、桂島大和⑳

【控 え】 外館篤⑫

【交 代】 菅野隼也⑤→外館篤⑫(後半29分)

【警 告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹

【副 審】 なし

【評】

先週、一回戦(開幕戦)で勝利し今日は社会人選手権トーナメントの二回戦。場所は、「女川総合運動公園第二多目的運動場」、初めての場所だが立派なグラウンドだ。石巻の近くに位置するが、結構遠かった。震災から10年を経過し、新しい歩みを感じられるもののまだまだの感は否めない。

予定より10分遅れでキックオフ。今日の相手は、白石CLUB。かつて対戦したことは無く、県南リーグのチームという情報だけである。こちらの今日のメンバーは12人で交代が1人しかいないので、最初から飛ばさずに勝負は後半にかけるように示唆していた。

しかし、相手は最初から激しい当たりとスピードでやってきた。前の試合がペナルティキック戦となり、最後の11人までもつれたため事務局が開始時刻を10分遅らせてくれたが、練習時間が短かく選手達は体が充分ほぐれないまま試合に突入したようだ。相手も状況は同じだったろうが、ボールへの寄せ、体の入れ方、スピードいずれも相手が一枚上手の立ち上がりであった。

開始早々に失点しないことを願いながらも・・・5分、10分、15分と攻められながらも無失点で凌いだ。今日のD F はC B 長谷川と土肥、両SBに小西と今日デビューの川口。M F は菅野と八重樫。今日キャプテンを務めてくれた長谷川は相手の突破を何度も虚しくし、気迫を見せつけた。小西、川口も相手の動きをよく見定め、両サイドからの突破を許さず、決定的なチャンスは作らせなかった。土肥は危ないと見るやD F となり、チャンスと見るやM F で攻撃を創った。G K 田村には何度

かシュートは飛んだが、DFの活躍もあり危ないと思うような場面は記憶にない。ゴールキックがよく飛ぶのには皆驚いていた。強風しかも逆風なのでボールは戻ってくるが、それでも軽くハーフラインは越していた。本人は背筋が痛いと言っていたのはどうもその為のようだった。

FWは真ん中に坂井、中村、両翼を桂島と今日デビューの塚田。開始早々から厳しいボディ・チェックにあい簡単には前を向かせてもらえない。ベンチでは味方のプレーヤーが倒れる度にハラハラし怪我のないことを祈っていた。

20分の飲水タイムを境に、明らかに攻撃にリズムが出て来る。相手のプレーに慣れてきたせいもあるが、相手のチェックを受ける前に、チェックを受けてもそれをモノともせずパスを繋げられるようになっていった。何度かゴールに迫り、期待の持てる展開になっていった。何度もCKを得たが、ゴールにはつながらなかった。CKが得点に結びつくにはお互いの阿吽の呼吸が必要で、そんな簡単なものではないことは承知しているが、今後は是非決めて欲しいものだ。前半は風下で不利な状況だったが0-0で折り返した。

後半、先週の一回戦とはまるで違う試合展開に最初は戸惑ったであろう選手達だったが、場面場面で負けないと分かったのか意気は上がっていった。相手に競り勝ってパスをつなぎ、何度もゴールに迫るようになった。しかし、相手DFも簡単にはフリーにさせないし、相手GKもファイン・プレーでゴールを破らせない。

攻勢が続いた矢先、カウンターをくらう。相手FWがゴール前で絶好のチャンスを迎える。フリーで浮いたボールを狙いすましてシュート！入ってもおかしくない場面だったが、幸運にもボールはバーを越えてくれた。

相手も体力を消耗したか、競り合いで動けなくなる選手が続出。担架で運ばれ3分も中断した場面の直後、遂に均衡が破れる時が来る。何度かゴールへ肉迫した後の、後半28分、相手のクリアボールを菅野が奪いDF(\*)へ、DFから八重樫、左に開いた中村へとパスが回る。中村はドリブルし、中へ切り込むと見せかけてボールを後ろへ、それを待っていた坂井はドリブルで前を突破しようとする。坂井を警戒するDFを2~3人引き付けておいて、中央の桂島へラストパス。ペナルティーエリアの内から外へ瞬間移動した桂島は、フリーでボールを受けた。ワントラップしてシュート、一瞬のタイミングを逃さなかった。ゴールキーパーは反射的に飛んだ。しかし、強烈なコントロールされたボールは既にゴール右サイドネットに突き刺さっていた。厳しいゲームの中、均衡を破る見事なシュートだった。1-0。

試合前から左足太腿に違和感を覚えながらも、MFで土肥とともに攻撃の起点となって活躍していた菅野であったが、限界で外館と交代する。

この後も、一瞬たりとも気を抜けない場面が続く。相手も必死でゴールを狙いにくる。こちらも追加点を狙い「勝ち」を決定的にしたい。後半40分で終了の笛が鳴らないと思ったら、アディショナル・タイム3分と通知された。相手も最後まで粘る。こちらも一歩も後に引かない。終了のホイッスルになった時、久々に安堵した。 【鈴木修平.記】





## ■2021年6月20日（日曜日）社会人選手権準々決勝 ARDORE桑原戦

試合開始 9:20 （40分ハーフ） 場所：色麻町愛宕山運動公園サッカー場

【結 果】0-2で負け

【得点者】なし

【アシスト】なし

【スタメン】GK：田村祥太郎①

DF：長谷川昂輝②、土肥功之介⑧、千葉一樹⑪、川口将史⑰

MF：菅野隼也⑤、今野琢人⑥、八重樫英一郎⑦

FW：中村航太⑨、坂井響⑩、桂島大和⑳

【控 え】小山海斗③

【交 代】千葉一樹⑪→小山海斗③(前半26分)

【警 告】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、小川修一

【副 審】なし

【評】

久々のトーナメント3回戦である。相手は「アルドーレ桑原」。2014年に県リーグ2部に昇格した時に何度か対戦しているが、先方が県リーグ1部に昇格してからは対戦していない。昨年県リーグ1部で優勝し今年から東北リーグに昇格しており、年々チーム力を向上させている強豪チームである。

場所は、色麻町の愛宕山運動公園サッカー場。「農業伝習館」として有名らしい。公園内には至る所パターゴルフ場があり、町民の方々が楽しんでいるようである。

今日は、何かイベントがあるようでいつもは使えるクラブハウスの前の駐車場が使用自粛となっていた。

2日前に東北地方も「梅雨入り」となり、昨日は梅雨らしい雨だったが、今日は一転「暑い」夏のような天気となった。メンバーは12人。2名が集合時刻には間に合わなかったが、試合には問題なかった。

9:20、キックオフ。集合時間が7:50で、しかも場所が遠く、初めての所なので朝早く起きなければならなかったことは容易に想像できた。そのためか、体がまだ完全には目覚めていない感じは否めなかった。

開始2分、D Fの対応が一瞬狂った。それが相手に決定的なチャンスをもたらした。フリーでG Kと対峙した相手F Wは苦もなくゴールを決めることができ0-1。開始5分はなるべく失点はしたくない。後で重くのしかかるからである。しかし、失点したらそれはそれで仕方ないと開き直ることが大事であるが、選手達も同じ思いだったようだ。

アルドーレ桑原さんとは、2週間前に練習試合をすることができた。相手からのオファーであったが、3回戦で会うことは後でわかったようだ。こちらにとっては、以前対戦した選手がもう卒業していないので、いきなり対戦したら大差で負けることが予想されたので、助っ人をお願いしながら練習試合をさせてもらった。相手の力を体で知ることが大事だと思った。その甲斐があったか、相手に決定的な場面をなかなか作らせなかったと言って良い。

しかし、相手の本領が発揮される場面が前半12分にやってきた。左サイドへボールが振られ、相手F Wはハーフラインから10mほどドリブルする。更にドリブルして切り込むかと思いきや、アーリークロスの早いボールを中央へ出した。ボールはこちらのD Fに挟まれていたF Wの前にピタリと合った。ボールをもらった時は前にはG Kがいるだけであった。狙い済まして左へ決める。これは見事と言うしかなかった。0-2。

サッカーでは、どんなに守備が固いチームでも失点することはある。だから2失点は仕方ないと覚悟している。逆に相手と力の差がどんなにあっても、得点チャンスは必ずあるものである。2失点から3点を返し逆転した例は枚挙に遑(いとま)がない。最後まで諦めなければそういう場面は必ず訪れると思う。そんな想いでいつも見ている。

2点ビハインドとなったが、D Fは徐々に調子を上げ容易にはチャンスを作らせない時間が続く。攻撃も中盤で相手のボディ・チェックをかわし攻撃の起点を作れる場面が多々あった。両サイドから連係プレーで相手を崩し、最後の1対1でも負けずにシュートまで行く場面も何度かあった。しかし、得点には至らなかった。

「0-2で負け」。一般的な見方では、予想より失点が少なかったという評価ではないかと思う。G Kの好守・ファインプレーが大きかったことは言うまでもないが、試合の内容としても「良かった」というのがベンチ・スタッフの一致した評価である。是非、次の試合にこの状態を継続して発揮してくれることを願う。

【鈴木修平.記】



## ■2021年6月27日（日曜日）クラブ選手権1回戦 南小泉SC戦

試合開始 9:30 （30分ハーフ） 場所：めぐみ野サッカー場Cグラウンド

【結 果】 3-0で勝ち

【得点者】 菅野隼也【1点目】、川口将史【2点目】、坂井響【3点目】

【アシスト】 なし【1点目】、なし【2点目】、菅野隼也【3点目】

【スタメン】 GK：田村祥太郎①

DF：長谷川昂輝②、土肥功之介⑧、坂井響⑩、

MF：菅野隼也⑤、今野琢人⑥、八重樫英一郎⑦、石戸谷溪大⑨

FW：中村航太⑨、桂島大和②⑩、門脇智也⑧

【控 え】 川口将史⑦

【交 代】 今野琢人⑥→川口将史⑦(ハーフタイム)

【警 告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【副 審】 小川修一(12:30～)

【評】

先週に引き続き、朝早い試合が続く。先週はちょっと遠方だったが今日の「めぐみ野サッカー場」は利府なので近場と言って良いだろう。7年前、県リーグに昇格した時は「県営利府サッカー場」が通り名だったと思う。経営上の問題なので何とも言えないが、名前に馴染むのに時間がかかることは否めない。

今日は全国クラブチーム選手権予選の1回戦。相手は南小泉クラブだ。かつては仙台リーグで、最近と同じ県リーグ2部で何度か対戦している相手だ。DFの裏にボールを出して走り込み、一気に勝負する戦法を得意とする。我がトンペイクラブは毎年メンバーが替わるにもかかわらず南小泉クラブを苦手としていた。仙台リーグの時はあまり勝てなかった。県リーグの時もいつも苦戦していたように思う。ただ、今回相手のチームの顔ぶれを見ると我々ロートルの知った顔が少なく、メンバーが代替わりしたように見受けられた。

今日のメンバーは当初は9人かと思われたが、千葉君紹介の門脇君、石戸谷君が初参加。今野君が怪我の全快を待たずに参加してくれたので12人となった。天気は曇りだが、時々太陽が顔を出す。太陽が出ると「暑い」。

9:30、キックオフ。

クラブチーム選手権は30分ハーフである。40分ハーフに比べると、それこそ「あっ!」という間に終わってしまうというのが実感である。相手が疲れたところを・・・とか、徐々に流れを変えて・・・などという悠長な時間は無い。とにかく先に得点した方が圧倒的に有利だということが長年の苦い経験で染み付いている。選手達にもそれを伝える。

立ち上がりの5分は、選手達も慎重に通過する。相手チームは以前のようなハードな当たりはしてこない。こちらと同じような攻め方に見えた。

19分、相手陣内で攻撃のチャンスが続く。2回ほど右サイドでCKが続く。キッ

カーは菅野。

20分、左サイドでC Kを得る。キッカーは同じく菅野。右足で蹴られたボールは、弧を描いてゴールに曲がってきた。ゴールライン上、G Kの前でジャンプしたのは門脇。それより頭一つ抜けてG Kがパンチングして外へ出そうとした直後、サイドネットが揺れていた。「オウンゴール?」「直接入っていた?」一瞬、沈黙があったがすぐに先制のゴールに沸いた。パンチングした時にはゴールしていたようだという周囲の客観的意見で菅野の直接ゴールとしたが、門脇のポジショニングはアシストに匹敵する。1 - 0。

30分、31分と惜しいチャンスが続いたが追加得点はならず、前半終了。

後半に入っても攻勢は続いた。

4分、右ペナルティーエリア外で絶好のパスを受けた八重樫、斜め45度の好きなコースだったが、低いシュートはG Kに阻まれる。

8分、ゴール前の門脇にも絶好のパスが出た。疲れの見た門脇のシュートはジャストミートせずG Kの胸に収まる。

9分、桂島が相手ペナルティー・エリア内で反則をされP Kを得た。誰が蹴るか中で葛藤があったようだが、最終的に桂島本人が蹴ることになった。桂島は、相手G Kに目配せし「右」を印象付けておいて、左隅に低く速いボールを蹴った。普通なら入っていただろうと思う。しかし、相手G Kは本職ではないものの運動神経抜群・百戦錬磨のプレーヤーだ。おそらく見抜いていたのだろう。取れないだろうボールをキャッチしてしまった。桂島がうずくまってしまったのは仕方がない。相手が一枚上手(ウケ)だったと思うしかない。今日、桂島はゴールに嫌われていたようで何度もチャンスがあったが悉(トト)くうまくいかなかった。(そういう時もあるのです。)

12分、追加点を入れられず一寸嫌なムードになってきていた時、一蹴したのが川口だった。C Kを得て、速いボールをゴール前に送った。皆、競ろうと待っていたが、「ガン」と音がしてサイドネットが揺れた。ポストに当たりゴールしたのだ。C Kが直接入ることは珍しい。しかも、ポストに当たって入ることは更に珍しい。プレーヤーもベンチも大いに沸いた、値千金のゴールだった。貴重な追加点でもあった。2 - 0。

22分、右サイドに開いていた坂井に菅野から絶妙なラストパスが出た。ペナルティーエリア中央から右へ逃げながら、このポイントしかないという所で右足を振り抜いた。触れば怪我をしそうなロケット・シュートはゴールネット右に突き刺さった。とっさにG Kは反応して飛んだが遅かった。3 - 0。

これで勝負あった。相手も懸命に1点を返そうと挽回を試みたが、時間はあっという間に過ぎて終了のホイッスルとなった。

相手が得意だったD Fの裏への攻撃はあまり見られず、冷々とする場面は多くなかった。こちら試合のたびにパスもつながり、いいプレーも随所に見られるようになったが、最後のところで会心のプレーができるまでにはもう少し時間がかかりそうである。今日の収穫は、C Kから2得点を挙げたことであろう。C Kから得点

につなげることは過去何度もあったし、サッカーの常道でもあるが、この何年かは見ていない。それが、今日はダイレクトに得点につながった。しかも2回。今後も「柳の下のどじょう」を狙いたい。

今日、デビューの門脇・石戸谷両君は初めての試合で、本当は控えがいたら替えてあげるのが常なのだがそれは叶わず、最後まで出るようになってしまった。いいところにいて、そこにボールが来るのだが如何せん、体が自分のイメージ通りには動いてくれず悔しい思いをしていたようだ。数試合を経て涼しくなった時には、多分思ったようなプレーができると思うので是非続けて出場して欲しいものである。

このトーナメントでは2～3年前から「帯同審判」が義務化されたので、副審を務めなければならなくなった。副審を務めてくれた小川さんに感謝です。



【鈴木修平.記】

### ■2021年7月4日（日曜日）県リーグ2部 第1節 SC75戦

試合開始 13:00 （40分ハーフ） 場所：アディダススポーツパーク

【結 果】 1-3で負け

【得点者】 菅野隼也

【アシスト】 なし

【スタメン】 GK：田村祥太郎①

DF：長谷川昂輝②、小西 賢⑬、川口将史⑭

MF：菅野隼也⑤、今野琢人⑥、八重樫英一郎⑦、土肥功之介⑧

FW：中村航太⑨、坂井響⑩、古賀広見⑪

【控 え 】なし

【交 代 】なし

【警 告 】なし

【ベンチ 】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【副 審 】小川修一(9:30～)

【評】

前日は静岡の熱海での凄まじい土石流災害が報道され、テレビの前に釘付けになった。毎年、この時期は梅雨前線が活発になって全国どこかで災害の報道がされる。「数十年に一度の災害」という言葉を「毎年」聞いて慣れっこになってしまっていることが怖い(^^;)。

仙台は、今日の午後は「強い雨」と言う予報で雨に濡れることは覚悟していた。ここアディダスパークでは「晴れの日」ももちろんあるが、「雨の日」の印象が強い。仙台市の西に位置し、少し高いところにあるため下界と比べて雨が強くなる傾向にあるようだ。

第1試合は雨、第2試合はそれが少し弱くなり、我々の第3試合はその状態で始まった。

今日の相手は、SC75。昨年昇格したチームだが、最初から力を発揮して好成績を残している。相手は「今日が初戦」と聞いていたので4試合をこなしている我々の方に分があるのではないかと内心思っていた。メンバーは11人。控えはいない。

13:00、キックオフ。

前半3分、菅野・中村でチャンスを作りまずまずの立ち上がりを見せる。

最初5分はセオリー通りに無失点で通過したかと思った6分、相手はぎこちない守備のほころびをついて、早いスピードで左を突破し、シュートのような速いセンタリングを中央に返した。これに相手FWはDFと競りながらもよく合わせた。目にも止まらぬ速さでGKが反応できるシュートではなかった。敵ながら素晴らしいシュートだった。痛い失点を喫し0-1。

11分には再びゴール前でピンチが訪れるが、GK田村のファインプレーでゴールは割らせなかった。

その後は守備も攻撃も立ち直り、チャンスを作っていく。

17分、坂井。

19分、古賀。

20分、川口-古賀。

23分、古賀。

32分、川口のCKはゴールラインを割って入ったかと思われたが、ネットは揺れなかったのが幻となる。

36分、ペナルティエリア外でFKを得た。菅野、川口どちらが蹴るか迷わせて・・・川口が左で蹴った。ループしたボールは惜しくもバーをかすめ前半終了。これなら大丈夫、いける！という感触を得たのはベンチだけではあるまい。

後半はどちらかといえば東北クラブのペースで進んだように思う。



6分、坂井。

8分、中村。

13分、土肥一八重樫。

19分、坂井。

とチャンスはあるもの得点には至らない。

逆に20分、相手がFKをヘディングで見事に合わせ0 - 2と離される。

1点を返せばこちらに流れが来る、と誰もが思っているが、なかなか上手く事は運ばない。

23分、古賀。

28分、八重樫。

32分、坂井。

そして37分、菅野が反則を受けPKを得る。しっかり決めて1 - 2。

ようやく追い上げムードになったが、残り時間は短かすぎた。

終了直前、オウンゴールという要らないおまけまでついて1 - 3で終了した。

プレーひとつひとつは悪くないし、スピードも相手に遜色ない。どう攻めたいか、攻撃の意図もわかるのだが、どうもうまく繋がらない。何かが噛み合わない。チグハグな感じがずっとまとわりついて離れなかった。

自分がシュートするにしても、相手を2～3人抜いてフリーになってシュートするのは、無理とは言わないが効率が悪い。誰かを壁にしてパスし、それをもらうことでフリーになれると得点の確率は倍増する。局面・局面でそれができれば最高である。誰かにラスト・パスを出すにしても、声をもらえばそこに出せる。声をもらうのが2人になれば、相手を攪乱してどちらかに出せる。さらにそこに空きスペースができれば、そこに誰かが走り込むことで決定的な場面が作れる。これまでの試合でも、そういう場面はあった。しかし、相手のレベルが違えば、変わってくる。相手に合わせて「したたか」にならなければならないということだろう。

これは、毎年のことであるが我がトンペイクラブには「(積極的に)声を出してアピールしない」傾向がある。4試合をこなしてはいるもののお互いをまだよく知らないのは事実である。飲み会などで「あの時はこうしたかった。こういう意図だった。」とか色々話があれば意思疎通もうまく行くのであろうが、なかなかそうはできないと言うチーム事情もある。ここは、でしゃばって「俺はこうしたい!」とすることを声を出してアピールしてプレーするのが一番である。「遠慮」は「百害あって一利なし」、相手を認めながら自分も活かしてもらう、それができればいいプレーにつながり、結果として勝てることにつながると思う。 【鈴木修平・記】

P.S 副審を務めてくれだ小川さんに感謝です。

## ■2021年7月18日(日曜日) クラブ選手権2回戦 マリソル松島戦

試合開始 12:35 (30分ハーフ) 場所: 松島フットボールセンター2 G

【結 果】 0-2で負け

【得点者】 なし

【アシスト】なし

【スタメン】G K：田村祥太郎①

D F：長谷川昂輝②、土肥功之介⑧、古賀広見⑭、川口将史⑰

M F：菅野隼也⑤、今野琢人⑥、八重樫英一郎⑦

F W：中村航太⑨、坂井響⑩、桂島大和⑳

【控 え】なし

【交代】なし

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、船橋富壽

【副 審】秋保盛樹(9:30～)

【評】

梅雨が開けてしまった。今日の試合が終わるまでは開けないでくれることを内心期待していた。しかし、例年より2週間も早く開けてしまった。昨日は最高気温31℃、「熱中症アラート発令！危険な暑さなので外へはなるべく出ないで下さい。不要不急の外出は避け、クーラーなどのある部屋でお過ごし下さい」という異例のメッセージがテレビで流れていた。しかし、こういう時でも「サッカーはやる！？」のである。

今日の対戦相手はマリソル松島、場所は松島フットボールセンター2である。前の第2試合がP K戦となったため、練習時間はほとんど無い状態で、予定より5分遅れて12:35キックオフ。メンバーは11人。交代選手は無し。

マリソル松島とはこれまで何度も対戦しているが、いつも押されて負けているイメージがある。我々も新しいチームになって数試合をこなしているとは言え、何年もチームとしてのプレーを維持している相手チームとは歴然とした差がある。今日は、「押されながらも善戦した・・・」という結末をぼんやりと想像していた。しかし、試合が終わった時、負けはしたが内容はこちらの方が上と言ってもおかしくないだろうという実感だった。それほどまでに試合内容は良かったのである。

相手の戦法は、長年培った得意のパスワークでD Fから中盤をつなぎ、左右に大きく開いたF Wが俊足を活かして攻め上がり、中に折り返して決める、と言うものだ。「マリソル松島」と対戦するのは初めての選手が多い中、相手の力量を前半の短時間のうちにチームとして感じ取ったように思えた。

M F・D Fが悉く相手の決定的な場面を阻止し、最後の砦G Kも鉄壁を堅持した。相手の攻撃を止めた後、中盤で相手にボディ・チェックを受けながらも「円の動き」でかわすプレーや、相手を背にして「切り返す」プレーは見事であった。これが攻撃の起点となり、数本のパスが途切れずにつながり、最後のシュートまで行く場面を何回も作った。これほど対等に、いや対等以上に試合が作れるとは正直思っていなかった。

前半は0－0で折り返す。

後半に入っても前半の良い流れは続く。

しかし、後半9分、D F長谷川がG Kへ戻そうとしたボールが途中で失速したか、

相手の俊足FWに取られ失点し0-1。これで相手は勢い付き、怒涛のような攻めを繰り返ししかけて来る。こちらは、緊張の糸が切れたか、気落ちしてしまったか、防戦一方となり、11分にも相手に得点を許し、0-2と離される。

こちらも気を取り直し、ようやく相手DFを突破して得点の形を創れるようになる。19分、古賀。20分、八重樫。25分には先にオフサイドを取られ、今回は慎重に相手DFの最終ラインを見極めてからボールを受けたにもかかわらずゴールインした後に「オフサイド」を取られた桂島。この判定は「？」ではあったが、ベンチから退場者を出す訳にもいかず抗議を飲み込んだ。前半のような攻勢を取り戻した時には、既に遅かった。30分ハーフの宿命である。

今日の試合、前回7/4のSC75戦で感じたチグハグ感はまるで無く、驚くほど「スピーディでスムーズな流れ」を創っていた。その意味で今日の試合は「良かった」と言える。ただ、結果は0-2で負け。数字だけで言えば、チャンスを活かして3点取れていれば・・・と言うことになるが、サッカーというスポーツは、思い通りに得点できるスポーツではない。だから、「あの時こうできれば・・・」ということは各自の脳裏に鮮明に焼き付いているものである。是非、それを実現できるように改善・努力はしてほしい。いつか、必ずそれが現実となる日が来る。「その日」が今のチームの中で来ることを願う。

「なぜ？なぜ？5回法」というものがある。社会人の方は既に仕事の中で実践しているかも知れないが、「QC活動」の一手法である。仕事でもそうだが、「ミスをする事」は必ずと言っていいほど有るものである。誰にでもミスは有るものだから、2回くらいまでは大抵許してくれる。しかし、3度目となるとそうはいかなくなる。「再発防止」をしなければ、企業にとって最も重要な「事業の存続」が危うくなるからである。その時、個人を責めるのは我々の若い頃(20~40年前)の話、今は「なぜ、そういうミスが起きたか」を客観的に関係者全員で話し合う。その時「なぜ、そうなったか？」を納得いくまで問う。色々言い訳を考えて答えても、それ(「なぜ?」)が2度、3度と続くことにより核心に近づき「真の原因」に辿り着く、というものである。大抵の場合、3度くらいで真の原因に辿り着くようである。これをチームで行うのはなかなか難しいが、自分に対して行ってみると「改善」の真のポイントが見えてくるはずである。トヨタは「改善運動」で車の世界でトップになり、今もそれを維持している。 【鈴木修平.記】

p.s 「帯同審判」を務めてくれた秋保さんに感謝です

## ■2021年10月3日(日曜日) 県リーグ2部 第2節 中新田SC戦

試合開始 11:00 (40分ハーフ) 場所: 松島フットボールセンター 1

【結 果】 3-1で勝ち

【得点者】 千葉一樹(1点目)、土肥功之介(2点目)、桂島大和(3点目)

【アシスト】 桂島大和(1点目)、なし(2点目)、千葉一樹(3点目)

【スタメン】 GK: 田村祥太郎①

DF: 長谷川昂輝②、川口将史③、古賀広見⑫

M F : 菅野隼也⑤、今野琢人⑥、八重樫英一郎⑦、土肥功之介⑧

F W : 坂井響⑨、千葉一樹⑩、桂島大和⑪

【控 え】 外館篤④

【交代】 坂井響⑨→外館篤④(後半32分)

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、船橋富壽

【副 審】 丸田陸(9:30～)

【評】

7、8、9月はコロナの感染拡大で試合が一部中止となったりしたが、ようやくリーグ戦が再開となった。

前회가7/18だったので2ヶ月半ぶりの試合である。季節はもう秋、朝夕は寒いくらいになって来たが、ここ2~3日は日差しが強く真夏を思わせる暑さである。今日も太陽が当たる所は暑い。メンバーも十二分に休養はしたが、試合の勘や体力がどの位で戻るかが心配の種であったろう。

場所は、お馴染みの「松島フットボールセンター1」、相手は昨年唯一勝てた「中新田SC」。今日のメンバーは12人。交代が1名いるといたないとでは気持ち的に雲泥の差がある。

11:00、キックオフ。最初の5分は無難に通過したが、相手チームの印象が昨年とちょっと違った。DFから中盤をパスワークで繋ぎ、大きく左右に振って勝負する、いわゆる試合巧者というイメージだったが、今日は最初からガツガツ当たってくるストロング・タイプに見えた。2ヶ月半も間が空いている選手にとっては、一寸辛い立ち上がりであった。

しかし、7分、中盤中央から菅野が左足で相手DF2人の頭上を越す山なりのパスを出した。ペナルティ・エリアの手前でバウンドした。相手GKは当然飛び出してきた。こちらでボールを追ってジャンプしたのは桂島だった。GKはパンチングするとハンドの反則になるのでヘディングした。桂島の頭が一瞬早かった。ボールはゴール前をバウンドした。誰もいないかと思った矢先、そこに俊足の千葉が追いついた。1-0。後でビデオで見ると菅野のボールには逆回転がかかっていた。相手GKが触る直前にヘディングの打点を持ってきた桂島と菅野のセンスが光った。桂島はヘディングを競った時、相手とバッティングしてしばらく倒れていたのが得点シーンは見られなかったと思う。シーズン後のビデオに期待してほしい。

体が思うように動かなかったであろう選手たちの動きがこの先取点で見違えるようになったことは言うまでも無い。

9分、八重樫がペナルティ・エリア外から強烈なミドル・シュート。

21分、ボールがゴール前を横切るが・・・

23分、川口が左から中へ大きく速いボールを入れる。千葉が飛び込んだが惜しかった。

24分、川口が左からシュート。

29分、桂島から古賀へ、



33分、ゴール前で絶好のチャンスがあったが逃す。

終了間際、相手FWへの縦パスをペナルティ・エリアまで駆け上がって止めたG K田村がボールをキャッチした後、相手FWが交錯。頭に相手の足が当たり数分間プレーが止まった。幸いに怪我は無かったようだ。相手も何とかして1点を返そうと必死だった。

後半に入る。

開始早々3分、いい攻めでゴール前まで行くが得点にはならず。

9分、桂島が惜しい場面を作ったが実らず。

逆に10分、相手の技ありのシュートで1 - 1の同点とされる。

これで相手は息を吹き返し、ムードが逆転した。しかし相手の攻勢が強まる中、坂井のヘディングが相手DFを脅かしていた。上背があり、足が速いCFなので大抵2人にマークされ、得点の機会を潰されることが多い。今日はベンチのアドバイスもありヘディングでチャンスを作ることを心掛けたようである。それが功を奏したか、得点には成らなかったもののいい形になった場面が何度かあった。その気になれば殆ど競り勝てるように見えた。「アタマは使いようである」

このままの流れだと困るなと思っていた後半11分、中盤右からパスをつないで相手ペナルティ・エリア右外に迫る。ここでボールをもらった土肥は軽快なドリブルで相手を軽くかわし左足を振り抜いた。G Kがセービングしたのが見えたが、ボールの軌跡は見え、ゴールネットが揺れていた。滅多に見れない弾丸シュートだった。2 - 1。

同点にされた直後の勝ち越し点。タイミング的にこれ以上望むべくもない得点だった。

その後も相手の厳しい攻勢は続いたが、長谷川、川口、古賀のDFラインと今野、菅野、八重樫、土肥のMFラインは相手に得点を許さなかった。G K田村はいつもの安定したプレーでゴールを守っていたが、相手FWと2度激しく交錯し、試合が中断した。幸い、怪我は無かったが肝を冷やした。一番恐れているのが「怪我」である。怪我をしてまでのプレーは望まないが、そういう場面は無いとは言えず、いつも心配の種ではある。

後半も半ばにさしかかる。何度かチャンスは作るものの相手の必死の防御に徒労に終わる。

後半31分、右からの攻勢で何本かのパスが通り、千葉に。千葉は快足ドリブルで相手を翻弄し、ペナルティ・エリアに入った所でさらに1段ギアを上げた。相手DFは付いていけず、たまらず転倒した。千葉はゴール・エリアまでドリブルし最後はキラー・パス。相手DFの前に飛び込んで合わせたのは桂島。相手G KのセービングとDFのスライディングを無にしてゴールネットを揺らした。3 - 1。

これで勝負はあった。間が2か月半もあり試合の感覚は十分ではなかったし、当たりの厳しい試合だったが、いいプレーで勝利することができた。交代のタイミングが遅くなった外館君や他の選手達に感謝したい。 【鈴木修平・記】



P.S 副審を務めてくれた現役の丸田君に感謝です。

### ■2021年10月10日（日曜日）県リーグ2部 第3節 SendaiUniversitat戦

試合開始 14:00 （40分ハーフ） 場所：アディダススポーツパーク

【結 果】 0-3で負け

【得点者】 なし

【アシスト】 なし

【スタメン】 G K：田村祥太郎①

D F：長谷川昂輝②、今野琢人⑥、古賀広見④、千葉一樹⑩

M F：菅野隼也⑤、八重樫英一郎⑦、土肥功之介⑧

F W：坂井響⑨、佐藤博亮③、桂島大和⑪

【控 え】 なし

【交 代】 なし

【警 告】 佐藤博亮③

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、船橋富壽

【運営当番】 秋保盛樹、吉田和朝、船橋富壽、（鈴木修平）

【副 審】 丸田陸(11:00～)

【評】

開始前のメンバーは10人。今日の相手は仙台大学の冠がつく、今年昇格して来たチームだ。メンバーの顔ぶれを見ると7月末の全国社会人選手権東北予選の決勝戦でコバルトレー女川と戦ったチームのようである。

いずれにしても、これまで県リーグに昇格して来た仙台大学関連チームは、バリバリの現役大学生で、しかも体育専門なので大学の中でもトップレベルであろう。社会人の中では「向かうところ敵無し」というのがこれまでの感想である。

そのため、どのチームも最初から勝ち諦めて、如何に失点を少なくするかに腐心するのが常である。全勝して早く上のカテゴリーに行ってくれるのを願っている、と言うのが本音ではないだろうか。

そう言うチーム相手に、11人でも足りないのに10人では「・・・」というのが本音である。1人遅れて来るかも知れないという情報があったが、来なかった時のことを考えて期待したい気持ちを振り払った。

14:00キックオフ。快晴。予想通り最初からトップ・スピードでガツガツ来た。

まずは最初の5分を無失点で乗り切るのが大事だが前半2分、いきなり相手がフリーでシュート！という場面になろうとしたが千葉が巧みにブロックして事なきを得た。さらに4分、またフリーでゴールに迫られるがG K田村の好守で防いだ。

相手の戦法は、早いパスで中盤で制し、両サイドどちらからでも切り崩してくる。サイドの深い所で数的優位を作り、相手を崩し一気にゴールを脅かし、ゴール前を横切るパスをカウンターで決める。スピードが半端ではないからこれを防ぐのは容易ではない。防ぐ唯一の方法は、中盤で相手に自由なパスをさせないようにすることである。しかし、言うのは簡単だがやれるものではない。さらに、それをやり続けるのはそれ以上に難しい。

5分が経過して、強い当たりや速いパスにも眼と身体が慣れたか、容易に中盤を支配させない状況が続く。最初から圧倒されても不思議では無かったが、案に相違して力量に全く遜色は無く、対等と言っても過言ではなかった。10分、15分、20分、0-0の均衡が続く。

今日の布陣は今野と長谷川がセンターバック、千葉と古賀が両サイドバック。中盤を菅野、土肥、八重樫。トップを坂井と佐藤。ポジションは今野の采配に委ねているが、いつも感心させられる。

「相手は11人、こちらは10人だよな、それも相手はバリバリの現役の大学生・・・」ベンチから感嘆の声が聴こえてきた。しかし、それもいずれ時間の問題だろうということとは誰もが感じていた。

20分の飲水タイムの時、11人目のメンバーが走って現れた。桂島だった。治療で遅れたという。こういう状況なので一気にムードが明るくなった。

しかし、10人が11人になった事でそれまでのリズムが少し狂った。前半27分、相手はその一瞬を逃さなかった。ディフェンス網を一気に突破、フリーでG Kと1対1となる場面を作った。どフリーではG K田村でもどうしようもない。相手はミスる筈も無く均衡は破れた。0-1。

これで相手は本来の状況に近づき一気に得点を重ねるかと思われた。しかし、そうはならなかった。こちらの気迫は変わらず、逆に得点できそうなチャンス場面も結構あった。坂井は持ち前のスピードで相手に競り勝ちボールを奪い、ゴール前に迫った。ヘディングの競り合いでも競り勝ってチャンスになった。前半は対等以

上の内容で0-1で折り返す。

後半に入り、体力的にどうか心配だったが、前半のスピードと気力は衰えなかった。相手は後半2点を入れた。1点は後半11分、ゴール前の混戦から山なりのボールがペナルティエリアに飛んだ所をボレーシュート。これも山なりだったが左サイドネットに飛んだ。多分、GK田村から選手が重なって見えなかったのではなかったか？もう1点は、後半16分、ペナルティエリア・ラインぎりぎりの所での反則でPK。できればFKにして欲しかった。

2失点したとは言え、試合内容は得点を期待させる場面がたくさんあり「惜しい」と言わざるを得ない。こういう相手では完全にフリーになってシュートというのは無いとは言わないが極めて少ないと思う。だからバック・スイング無しのシュートも試してほしいと思った。トゥ・キックでもいい。シュート・チャンスのタイミングを逃さない、零コンマ何秒の世界を経験してほしい。

今日、佐藤博亮(ヒロアキ)君が新規加入でデビューした。普通なら、慣れるまで無理はしないように配慮するのだが、人数は足りず、相手は全力を要求される強豪チームなのでいきなりフル出場となってしまった。しかし、全く違和感はなくこなしてくれた。今後の活躍に期待したい。 【鈴木修平.記】

P.S 2度目の副審を務めてくれた丸田君に感謝です。

運営当番をお手伝いいただいた舩橋さん、ありがとうございました。

#### ■2021年10月17日(日曜日) 県リーグ2部 第4節 六郷クラブ戦

試合開始 11:18 (40分ハーフ) 場所：色麻町愛宕山運動公園

【結 果】 4-0で勝ち

【得点者】 坂井響(1点目)、土肥功之介(2点目)、坂井響(3点目)、  
中村航太(4点目)

【アシスト】 菅野隼也(1点目)、菅野隼也(2点目)、土肥功之介(3点目)、  
坂井響(4点目)

【スタメン】 GK：田村祥太郎①

DF：長谷川昂輝②、川口将史⑫、八重樫英一郎⑦、今野琢人⑥

MF：菅野隼也⑤、土肥功之介⑧、中村航太⑩

FW：坂井響⑨、外館篤④、佐藤博亮③

【控 え】 なし

【交 代】 なし

【警 告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【副 審】 長浜慧昌(9:20～)

【評】

いきなり寒くなった。3日前に自宅の灯油サービスが回ってきて「どうですか？」と声がかかったが、その時は暑くて「結構です」と答えたところが2日前から冷たい雨になり急にストーブが必要な寒さになってしまった。ユニフォームも長袖があ



るが、緑のパンツとストッキングが足りないため使うのを躊躇せざるを得なく、選手達には半袖で気の毒であった。

今日の相手は「六郷クラブ」、場所は「色麻町愛宕山運動公園」である。メンバーは11人。控えはいないので怪我に注意しなければならない。

11:18、キックオフ。

ここ色麻町愛宕山運動公園での試合のキックオフの時間は、いつも「？」と思う。今日の第一試合は9:20、第2試合は11:10の予定であった。いつも練習時間が満足に取れないという印象が強い。今日も第一試合が伸びたため、11:18となった。練習時間は10分も無かった。機会があったら理由を聞いてみたい。

立上り、両チームとも寒い上にアップの時間が少なかったためか動きが固かった。前半14分、相手からボールを奪い前線にパスが出た。佐藤と坂井が走っていた。ボールは佐藤が受けた。相手DFは誰もいなかった。どうみても「オフサイド」だった。しかし、笛が鳴らない。相手の抗議の声の中、佐藤はプレーを止めたが、坂井は続けた。シュートしたが入らなかった。いや、「入れなかった」と言うべきか。笛が鳴らないので入れても悪くないのだが、こういうゴールの仕方はいかなものか。お互い後味が悪いし、プレーヤーの「人間性」にも関わってくることである。綺麗でないやり方をたくさんみてきたロートルのスタッフにすれば一寸惜しい気もしたが、結果的には、これで良かった。その後、相手は少し熱くなり荒っぽくなるかと思われたが、体を温めるのに貢献した程度だったように見えた。

飲水タイムを境に、動きが良くなり出足も早く相手のパスをカットしたり、競り合いでも勝つ場面が多くなっていった。その結果、ゴール前に何度となく攻め入り、シュートまで行くようになった。

この日FWとして坂井と外館がツートップのような形をとっていたが、どういう訳か外館に絶好のボールが集まり、チャンスになることが多かった。坂井と外館のスピードの差が相手DFラインの対応を微妙に狂わせたのではないかと、というのがベンチの大方の見方であった。残念ながら得点には至らなかったが、「惜しい！」の声が幾度も聞こえた。

こちらのDFも相手に決定的なチャンスは殆ど作らせなかった。特に長谷川は競っては負けず、パスは正確でほぼ完璧な守備を見せていた。こういう状況では相手も決定的なチャンスは作れず、前半は0 - 0で折り返した。

後半開始早々、試合が動いた。

まだ相手が十分に動き切れていない立ち上がり後半2分、中盤真ん中辺りから菅野が相手DFラインの頭越しに絶妙のロビング・ボールを出した。ボールは最前線真ん中の坂井の前にピタリと落ちる。こういうパスは恐ろしい。一瞬でGKと1対1という絶体絶命のピンチとなってしまふからだ。相手GKも体を投げ出し可能な限りシュート・コースを切ろうとする。しかし、坂井は慎重に相手GKの動きを見極め、脇の下を抜いてゴールネットを揺らした。1 - 0。

この1点で一気に攻勢が強まる。ベンチとしては早い時点での追加点を期待するが、相手もそれは簡単に許さない。相手には3点は入れる力があることを我々は長

年の対戦で知っている。1点返されれば試合の行方はわからなくなる。追加点を渴望するベンチであった。

後半16分、中盤左でボール争奪があり、菅野がボールを取った。菅野は間髪を容れず右にスルーパス。そこにはフリーの土肥が待っていた。土肥はGKとの間合いを詰め右足でシュート。待望の追加点をあげた。2-0。利き足ではない右足での土肥のシュートもさることながら、菅野の状況判断とパスのタイミングが際立った。

3分後の後半19分、少し前に相手との競り合いで痛い思いをした土肥が、そのお返しのように相手ゴール前で華麗なドリブルを披露する。相手GKまで抜き去り、ゴールラインが目の前に迫っていた。ゴールラインぎりぎりの所からマイナスのボールをゴール前に折り返す。ボールが来ることを確信していたように待っていた坂井が合わせた。3-0。

終了間際の後半39分、左タッチライン、センターラインの辺りで相手がクリアしたボールを、今野が待っていたかのようにカット、サイドキックで浮かして前の土肥にパス。土肥、佐藤、中村と速い連携プレーで繋ぐ。中村はターンしてペナルティ・エリア角からゴールへ一直線にドリブルする。当然相手DFが詰めて来る。中村の側には坂井が待っている。壁パスであっという間にDFは置き去りにされ、中村はGKと対峙した。狙って確実なシュートをしたが、相手GKのファインプレーに弾(ハジ)かれてしまった。「あーっ！」とベンチから声が漏れた時、ボールは中村の前に落ち、ネットを揺らして止(トド)めを刺すことができた。

このような壁パスが見たかった。そして、今野が起点となった実に見事な攻撃連携プレーだった。

【鈴木修平.記】



## ■2021年10月31日(日曜日)県リーグ2部 第5節 田尻FC戦

試合開始 11:00 (40分ハーフ) 場所:みやぎ生協めぐみ野Cグラウンド

【結 果】2-0で勝ち

【得点者】坂井響(1点目)、坂井響(2点目)

【アシスト】中村航太(1点目)、佐藤博亮(2点目)

【スタメン】G K: 残間諒⑯

D F: 長谷川昂輝②、今野琢人⑥、千葉一樹⑩、田村祥太郎①

M F: 菅野隼也⑤、土肥功之介⑦、中村航太⑧

F W: 坂井響⑨、外館篤④、佐藤博亮⑫

【控 え】なし

【交 代】なし

【警 告】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝

【副 審】残間諒(9:00~)

【評】

今日は全国的には「衆議院議員総選挙」宮城県では「宮城県知事選挙」仙台市では「全日本大学女子駅伝」と賑やかな一日であった。加えて、隣のBコートでは「日本フットボールリーグ」のソニー仙台と高知ユナイテッドSCの試合が13:00から予定されていた。そのため、グラウンドの駐車場が半分以上制限されてちょっと窮屈な思いをした。

今日の天候は、午前中は快晴で半袖のユニフォームで十分間に合う温度だった。長袖のユニフォームも準備したが不要であった。

今日の相手は、田尻FC。これまで10年近く対戦しているが、勝ったり負けたりでほぼ互角と言って良いだろうか。相手の戦法は両サイドにロングパスを出して、サイドからDFを突破・切り崩し、中央へ折り返しカウンターで合わせるというもので、スピードもあり最後の最後まで力を抜かないガッツのあるチームである。終了間際に1点を返され痛恨の思いをさせられたことも1度ではなかった。

隣のBコートからは開始の2時間前なのにイベント会場顔負けのアナウンスと音楽がガンガン聞こえ、少々食傷気味の我々であった。

11:00キックオフ。開始早々の2分、中村が相手DFを突破してシュートするなど出だしはまずまずであった。

11分、相手はこちらのDFの一寸したほころびを見逃さず絶好の先取点チャンスを迎えた。こちらにとっては失点のピンチである。今日のGKは残間、仕事が忙しく1年以上も試合から遠ざかっているのに、試合の勘が戻るかどうか心配だと言っていたが、何事も無かったかのように窮地を救った。

今日のDFラインは長谷川、今野、千葉、田村。いつもと違うDFラインも時間を追うごとに機能するようになっていった。中盤で菅野、土肥、佐藤が相手をディフェンスして守り易くしたことも見逃せない。それを受けて攻撃にもリズムが出てチャンスを作れるようになった。

一進一退の攻防の中、17分、左ペナルティーエリア外で坂井がボールをキープ、寄せてきた中村にパスした。中村はドリブルで相手ゴールを脅かす。相手DFは2人がかりで潰そうとする。中村は引きつけておいてボールを緩やかに転がす。ゴールエリアの一寸外だったか、待ってましたとばかりに坂井がシュート。地を這うようなボールはゴール右隅に突き刺さった。1 - 0。

ベンチからは遠くて良く見えなかったが、ビデオでは中村はドリブルしながら坂井がシュートしやすいようにスペースを作り、そこにボールを置いたように見えた。練習でよくやった「プレース・キック」である。正確なシュートを狙うのにこれ以上の方法は無いかもしれない。今後、是非多用したいものである。

21分、相手が絶好のチャンスを作り失点かと思われたが、長谷川がファインプレーでピンチを救った。

27分にもあわやゴールかと思われる絶体絶命のピンチがあったが、残間は得点を許さなかった。

前半を1 - 0で折り返す。

後半に入ると、相手に疲れが見え前半に比べ動きが少なくなったように見えた。それに対しこちらはDFの連携も機能し、個々の競り合いでも負けず、攻勢に拍車がかかった。3分、14分、26分坂井。24分、32分佐藤。27分、39分千葉。28分土肥とチャンスが続いた。しかし、相手のゴールをこじ開けることができない。

今日は両チームに「こんなミスをするはずがないのに・・・」という場面が何度となくあった。おそらくグラウンドのせいでボールがイレギュラーしたのだと思うが、それでお互いチャンスになったりピンチになったりしていた。しかし、それが得点につながる事が無かったのは両チームにとって幸いであった。

1 - 0のままアディショナルタイムに突入する。これまで何度かこの時間帯に痛恨の失点をしている。気は抜けない。

終了間際の後半43分、自陣中盤から菅野、今野、中村、佐藤、土肥とボールが繋がる。フィールドは左サイドから右サイドに移る。土肥へパスした佐藤が前に走る。そこへ土肥から再び佐藤へ。佐藤はペナルティーエリア右外でDFを背にボールを受ける。受けたボールのスピードを殺して前に置いた。そこに坂井が飛び込んで強蹴した。右斜め45度からのシュートの弾道はベンチからは見えなかった。しかし、ネットに突き刺さったことでゴールしたことが分かった。1点目とはまた違う豪快なシュートだった。昔の話で恐縮だが、マンチェスターユナイテッドの1960年代の全盛期にボビー・チャルトンという名選手がいた。彼の代名詞である「キャノン・シュート」を髣髴(ホウフツ)とさせるようなシュートだった。

今日の試合、相手チームの選手が後半足がつって交代していた。スタミナ抜群の相手チームにしては珍しい光景だった。推測であるが、今日のサイド・バックの千葉、田村は両サイドからの突破を容易に許さなかった。スピードでも負けず、頭上を越すパスも殆どヘディングで阻止していた。中央ではセンター・バックの今野、長谷川が頭脳プレーで決定的なチャンスを作らせなかった。相手を抜ければ疲労も



忘れるが、抜けないと疲労は倍加するものである。相手は恐らくこれで体力を消耗したのではないかと思った。

残念だったのは、コーナーキックがたくさんあったにも関わらず、活かすことができなかった点だ。菅野のボールはニアかファーにカーブを描いてやってくる。ここにイマジネーションを合わせればもっと得点に結びつくはずだ。【鈴木修平.記】



#### ■ 2021年11月14日（日曜日）県リーグ2部 第6節 KEMONOin槻木戦

【結 果】 不戦勝

【副 審】 丸田陸(9:00～)

#### ■ 2021年11月28日（日曜日）県リーグ2部 第7節 登米S C戦

試合開始 9:00 （40分ハーフ） 場所：アディダス・スポーツパーク

【結 果】 4-1で勝ち

【得点者】 菅野隼也(1点目)、坂井響(2点目)、八重樫英一郎(3点目)、  
桂島大和(4点目)

【アシスト】 なし;PK(1点目)、外館篤(2点目)、川口将史(3点目)、  
菅野隼也(4点目)

【スタメン】 GK：田村祥太郎①

DF：長谷川昂輝②、川口将史③、坂井響⑨、千葉一樹⑩

MF：菅野隼也⑤、土肥功之介⑧、桂島大和⑪、佐藤博亮⑫、

(八重樫英一郎⑦)

FW：外館篤④

【控 え】なし

【交代】なし

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、小川修一

【運営当番】鈴木修平、秋保盛樹、小川修一

【副 審】長浜慧昌(13:00～)

【評】

2021年度の最終節となった。11月末なので当然とは言え「寒い」。ここアディダス・スポーツパークは街中ではあるが標高が少し高く「山沿い地方」と言われている。それで天気も街とは結構違う。今日も来る時は太陽が照っていたが、こちらに来ると氷の混じった雨がパラっていた。

集合時間は8:00。キック・オフが9:00なので本来は7:30集合なのだが、以前早く来た時に「開門は8:00です」と管理人に言われ、それ以後ここアディダス・スポーツパークでは早くても8:00とした経緯があったが、特に皆には説明していなかった。いつも通り7:30に集合してくれたメンバーもいて、説明不足で申し訳なかった。

9:00キックオフ。練習時間は十分にあったが、寒すぎてあまり体は温まらなかったようだ。

今日の相手は「登米SC」、県リーグに昇格してめきめきと力をつけて簡単には勝てない相手になりつつあるチームである。今日の勝敗で成績順位が大きく変わるので、力が入っていることが練習を見てもわかった。対してこちらは、開始は10人であった。八重樫が最後の試合ということで遅れても来るという連絡があったが、180kmもある盛岡から来るので、下手をしたら着いた時には終わっているのでは・・・という懸念を払拭するのに時間がかかった。ともあれ到着するまでできる限り失点をしないことを祈った。そういう状況なので、キャプテン田村は「4：4：1」のフォーメーションを発案し、皆納得してくれたようだ。

5分、10分と時間が経過する。互角以上の攻防である。プレーにミスなく、パスは何本もつながり最終局面まで今一つという非常に締まった試合内容が続く。

DFは左を川口、右を千葉、センターを長谷川と坂井が担った。今季初めてのシフトだったが良く機能していた。中盤は菅野、土肥、佐藤が押さえる。いつもの倍くらい動いていたのではないかと。1人少ないことを全く感じさせなかった。FWはトップに外館を置いて、左右からチャンスを見て上がる・・・という思惑だったろう。久々にスタメンに入った桂島は、得意のドリブルで相手DFを引き付け、長い時間ボールを持ち人数の少なさを感じさせない状況を作っていた。14分にはゴールを期待させるような場面もあった。

前半20分の飲水タイムの時、駐車場から見慣れた姿が走って来た。「八重樫」だった。期待はしていたが、あまりにも早い。一体時速何キロでぶっ飛ばして来た

のかと訝しんだが「聞かぬが花」とした。体を温めるのに5分ほどかけ、25分に「入場」。チームの動きが見違えるようになったことは言うまでもない。

そして29分、左から何本かのパスで攻め上がり、最後は桂島がドリブルでペナルティー・エリアで勝負する。突破されれば間違いなく1点を失う、と相手DFは判断したと思う。倒してしまいPKを取られる。立場を変えれば「是非もない」である。キッカーの菅野にはプレッシャーがかかったと思うが、見事に左隅下に決めた。1 - 0。この1点は大きかった。

後半に入る。太陽が見えて少し暖かくなったり、氷の粒が入った雨がパラついたり、西の空に虹が見えたり、変な天気ではあった。開始早々の3分、相手がコーナーキックを取った。嫌な予感が的中し1点を返される。相手のこぼれ球への詰めとシュートが素晴らしかった。DFの人混みの中を地を這うようなシュートが左下隅に決まった。これで1 - 1のタイとなる。

当然相手の意気は上がり、攻勢が増すがこちらでも簡単に追加点は許さない。逆に、前半DFに回っていた坂井が後半はFWに上がり、前線で全速力でDFにプレッシャーをかける。相手は嫌だったろうと思う。それが功を奏したかは定かでないが、後半13分、桂島が左サイドから右足でクロスボールをゴール前に。ワンバウンドしたボールを外館がヘディングで落とす。坂井はこれを見逃さない。難しい角度だったがいとも簡単にシュートした。次の瞬間ゴールネットが揺れていたことでゴールしたと分かった。2 - 1。

後半18分、八重樫に惜しいチャンスがあったがゴールにはならず。一進一退の攻防が続く。

後半37分、相手が絶好のチャンスをモノにできなかった直後、ボールは川口に。川口は得意のロングパスを前線の八重樫に放った。カーブしたボールは八重樫にピタリと合った。八重樫はマークしていた相手DFの逆にトラップした。ボールは利き足ではない左に落とさざるを得なかった。そして左足でシュート、GKのセービングを無にして左下隅に決まった。八重樫の凄い右足のシュートは何度も見ているが、このような技巧派シュートを見るのは初めてだったかも知れない。3 - 1。

終了間際、右でコーナーキックを得る。キッカーは川口、早いカーブしてゴールを巻き込むようないいボールが来る。キーパーはパンチングで逃げるのが精一杯だった。パンチングしなければ入っていたのではないかと思う。左からコーナーキックが続く。キッカーは菅野。コントロールされたボールがゴール前に飛ぶ。上背のある外館と長谷川がジャンプする。当然DF 2人がそれを阻止せんとジャンプする。ボールは彼ら4人の頭上を越え、失速したかのように急激に落下する。そこにいたのは桂島。ヘディングをゴール右隅に決めた。4 - 1。その直後、終了のホイッスルが鳴った。

試合内容は互角だったように見えたが、結果は4 - 1。それにより、県リーグの成績も3位となることができた。

春から人数は十分とは言えなかったが、同じメンバーが多かったためか連係プレー



も回を追うごとに磨きがかかり、いい試合が多かったと思う。試合で力を発揮し、活躍してくれた選手達に感謝したい。

今年度は降格は無いが来年度は無条件に2チームが降格ということもありうると聞いている。毎年の事ではあるが来年度もメンバーが大きく変わることが確実である。毎年、ゼロからのチームプレー創りになるが、今年のレベルまで早く到達できるようにになりたいと思う。新メンバーの勧誘も、是非にお願いしたい。

【鈴木修平.記】



2022年2月2日 初版発行

製作者 鈴木修平  
発行所 東北(トンペイ)クラブ  
〒981-0944  
仙台市青葉区子平町11-12  
電話 022-273-5114



第45回 宮城県サッカーリーグ2部個人成績表  
得点ランキング アシストランキング

順位	氏 名 (チーム名)	ポイント
1	石川稔也(仙台)	7
1	小野寺雄太(仙台)	7
3	遠藤未希斗(75)	5
3	坂井響(東北)	5
5	安齋峰美(中新田)	3
5	上村拓磨(75)	3
5	佐藤賢斗(75)	3
8	菅野隼也(東北)	2
8	村上和也(田尻)	2
8	齋藤唯斗(仙台)	2
8	土田舜介(仙台)	2
8	鈴木幹也(登米)	2
8	内村悠斗(仙台)	2
8	佐藤凌太(75)	2
8	竹林弘輝(槻木)	2
8	桂島大和(東北)	2
8	庄司健人(中新田)	2
8	三浦純季(田尻)	2
8	吉田大峰(中新田)	2
8	佐々木拓也(75)	2
8	土肥功之介(東北)	2
8	佐藤恭哉(六郷)	2
8	布田健吾(仙台)	2
8	弓山敦也(仙台)	2
25	加藤良(75)	1
25	石崎正樹(田尻)	1
25	平良木元(槻木)	1
25	白鳥拓也(田尻)	1
25	木村文大(田尻)	1
25	佐々木大輝(田尻)	1
25	田村勇太(中新田)	1
25	太田善貴(槻木)	1
25	浜口尚樹(田尻)	1
25	針生大作(六郷)	1
25	青木喬(田尻)	1
25	西山剛人(六郷)	1
25	木村文大(田尻)	1
25	八重樫英一郎(東北)	1
25	佐々木天大(登米)	1
25	岩舘玲央(仙台)	1
25	佐藤勇翔(登米)	1
25	千葉一樹(東北)	1
25	氏家拓海(中新田)	1
25	菊谷大地(仙台)	1
25	横山大将(槻木)	1
25	関根悠斗(仙台)	1
25	中村航太(東北)	1
25	菊池篤(槻木)	1
25	菅原皓太(登米)	1

[illegible]



## 2021年メンバー一覧



鈴木修平

秋保盛樹

吉田和朝

佐々木元樹

小川修一

残間諒



今野琢人

長谷川昂輝

小西 賢

小山海斗

外館 篤

川口将史



土肥功之介

八重樫英一郎

千葉一樹

坂井 響

菅野隼也

石戸谷溪太



門脇智也

塚田一成

中村航太

田村祥太郎

古賀広見

中川祐輔



柱島大和

佐藤捕亨



東北クラブ戦績一覧(2011.6～) 2021-12-07 18:04

No	年月日	相手	結果	場所
1	2011-06-12	南小泉クラブ	0-0 引分け	宮城広瀬G
2	2011-06-19	一高済美	1-1 引分け	中田中央G
3	2011-07-10	仙台FC	2-1 勝ち	中田中央G
4	2011-08-21	ACシバノ	0-0 引分け	宮城広瀬G
5	2011-09-18	FCロケット	1-2 負け	宮城広瀬G
6	2011-10-02	OCT愛子	0-2 負け	県サッカー場
1	2012-04-01	南小泉クラブ	1-3 負け	宮城広瀬G
2	2012-04-15	桑原FC	1-1 PK負	(社会人)県B
3	2012-05-13	東北大学医学部	x流れ	(天皇杯)七ヶ浜G
4	2012-05-20	仙台FC	0-1 負け	(仙台リーグ)広瀬G
5	2012-05-27	東北大学医学部	0-6 負け	(天皇杯)陶芸の里
6	2012-06-10	ACシバノ	2-2 引分け	(仙台リーグ)中田公園G
7	2012-06-24	FCロケット	4-1 勝ち	(仙台リーグ)中田中央公園G
8	2012-07-01	SC75	0-1 負け	(社会人クラブチーム選手権)泉G
9	2012-07-08	OCT愛子	1-2 負け	(仙台リーグ)広瀬G
10	2012-07-15	宮工クラブ	2-3 負け	(仙台リーグ)利府県C
11	2012-08-12	SC75	5-0 勝ち	(仙台リーグ)
12	2012-09-02	一高済美	1-1 引分け	(仙台リーグ)色麻町愛宕山G
13	2012-09-23	FCロケット	2-1 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
1	2013-04-07	仙台FC	1-1 引分け	(仙台リーグ)広瀬G 大雨・強風・
2	2013-04-14	OCT愛子	2-0 勝ち	(全国クラブチーム選手権)松島G
3	2013-04-29	東北工大	4-1 勝ち	(天皇杯)泉東G
4	2013-05-05	七郷クラブ	2-2 PK6-5	(天皇杯)泉G
5	2013-05-19	宮城教員クラブ	1-3 負け	(社会人)仙台大G
6	2013-06-15	マリッパ松島	0-4 負け	(天皇杯)松島FC
7	2013-06-16	クイマックス	6-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
8	2013-06-23	クラブアレン	1-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
9	2013-07-07	多賀城FC	3-0 勝ち	(全国クラブチーム選手権)
10	2013-07-14	DUO PARK	1-2 負け	(全国クラブチーム選手権)白石川G
11	2013-08-04	ACシバノ	0-2 負け	(仙台リーグ)広瀬G
12	2013-08-18	OCT愛子	4-2 勝ち	(仙台リーグ)泉G
13	2013-09-08	仙台向山FC	6-1 勝ち	(仙台リーグ)中田中央G
14	2013-09-29	宮工クラブ	1-0 勝ち	(仙台リーグ)広瀬G
15	2013-10-13	広瀬FC	5-1 勝ち	(仙台リーグ)中田公園G
16	2013-10-20	FCロケット	2-1 勝ち	(仙台リーグ)中田公園G
17	2013-11-17	田尻FC	3-3 引分け	(昇格選考)利府県C
18	2013-11-24	BOA SORTEさくら	5-1 勝ち	(昇格選考)利府県C
19	2013-11-30	BOA SORTEさくら	1-0 勝ち	(昇格選考)利府県A
20	2013-12-01	IA*ラジ登米FC	5-1 勝ち	(昇格選考)利府県A
1	2014-04-06	七郷クラブ	2-1 勝ち	(社会人)愛宕山公園G

東北クラブ戦績一覧(2011.6～) 2021-12-07 18:04

No	年月日	相手	結果	場所
2	2014-04-13	FC SENDAI	0-6 負け	(天皇杯)利府県C
3	2014-04-20	一高済美	5-1 勝ち	(県リーグ)
4	2014-05-11	多賀城FC	1-2 負け	(県リーグ)
5	2014-05-18	TOHOKU FC	2-2 PK4-2	(社会人)
6	2014-05-25	登米SC	2-0 勝ち	(クラブチーム)
7	2014-06-08	仙台sasuke FC	2-3 負け	(社会人)
8	2014-06-22	七郷クラブ	2-0 勝ち	(県リーグ)
9	2014-07-13	FCイズミ	3-2 勝ち	(県リーグ)
10	2014-07-20	中新田FC	1-2 負け	(クラブチーム)
11	2014-08-17	多賀城FC	3-1 勝ち	(県リーグ)
12	2014-08-24	アト*ル桑原	2-3 負け	(県リーグ)
13	2014-08-31	一高済美	3-4 負け	(県リーグ)
14	2014-09-07	七郷クラブ	3-5 負け	(県リーグ)
15	2014-10-19	FCイズミ	8-1 勝ち	(県リーグ)
16	2014-11-02	アト*ル桑原	2-0 勝ち	(県リーグ)
17	2014-12-21	KEMONOin槻木	0-2 負け	(入替戦)
1	2015-04-12	多賀城FC	3-0 勝ち	(県リーグ)
2	2015-04-19	塩釜NTSCグレイズ	5-0 勝ち	(社会人)愛宕山公園G
3	2015-05-03	中新田SC	1-1 PK4-3	(天皇杯)松島マリッパ-鹿ノ子
4	2015-05-24	仙台大学FC	1-2 負け	(社会人)県A
5	2015-05-31	BOA SORTEさくら	1-2 負け	(県リーグ)七ヶ浜
6	2015-07-26	一高済美	1-2 負け	(県リーグ)アレンスタグ
7	2015-08-09	一高済美	4-1 勝ち	(クラブチーム)県B
8	2015-08-16	ユニバーサルクラブ	0-3 負け	(クラブチーム)県B
9	2015-08-23	六郷クラブ	3-1 勝ち	(県リーグ)松島総合G
10	2015-09-06	桑原FC	3-0 勝ち	(県リーグ)アレンスタグ
11	2015-09-27	BOA SORTEさくら	3-3 引分け	(県リーグ)松島マリッパ-鹿ノ子
12	2015-10-18	一高済美	4-1 勝ち	(県リーグ)県C
13	2015-11-01	桑原FC	0-2 負け	(県リーグ)県C
14	2015-11-08	六郷クラブ	1-2 負け	(県リーグ)県C
15	2015-11-15	多賀城FC	3-1 勝ち	(県リーグ)アレンスタグ
16	2015-12-21	東六クラブ/スウェット	0-3 負け	(県リーグ)入替戦
1	2016-04-10	FC SENDAI	2-3 負け	(県リーグ)県C
2	2016-04-17	南小泉クラブ	4-0 勝ち	(社会人)県A
3	2016-04-29	広瀬高専	9-1 勝ち	(天皇杯)アレンスタグ
4	2016-05-22	七郷クラブ	1-2 負け	(県リーグ)アレンスタグ
5	2016-05-29	東北大学学友会	0-6 負け	(天皇杯)松島マリッパ-鹿ノ子
6	2016-06-05	東六クラブ/スウェット	1-4 負け	(クラブチーム)県C
7	2016-06-12	マリッパ松島	1-1 負け	(社会人)県C
8	2016-07-10	桑原FC	0-1 負け	(県リーグ)アレンスタグ



